

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成27年度技術情報第13号（大豆・野菜類・花き類のハスモンヨトウ）について（送付）

下記のとおり情報を取りまとめましたので送付します。

## 平成27年度技術情報第13号

- 1 農作物名** 大豆, サツマイモ,  
野菜類（イチゴ, 根深ネギ, オクラ, キャベツ, サヤインゲン等）  
花き類
- 2 病害虫名** ハスモンヨトウ
- 3 予報内容**
  - (1) 発生地域 県本土, 熊毛地域
  - (2) 発生量 多
- 4 予報の根拠**
  - (1) 7月中～下旬の巡回調査での発生ほ場率は, オクラで30%（平年5%）と高かった（表1）。
  - (2) 県農業開発総合センター大隅支場（鹿屋市申良町）のフェロモントラップ誘殺数は8月以降増加傾向にある（図1）。他の調査地点の誘殺数は平年並みの発生であるが, 今後増加することが予想される。
- 5 防除上注意すべき事項**
  - (1) 8月2半旬の発生成虫に由来する次世代幼虫の発生時期は8月下旬以降と予想される。若齢幼虫は集団で表皮を残して食害し白変葉を生じるので, ほ場を見回り早期発見に努める。
  - (2) 卵塊や分散前の若齢幼虫を発見したら, 速やかに寄生葉を摘み取り処分する。
  - (3) 老齢幼虫に対する薬剤の効果は低いので, 若齢幼虫のうちに防除する。
  - (4) 施設栽培では, 開口部に防虫ネットを設置し成虫の侵入を防ぐ。なお, 成虫はネット上などにも産卵し, ふ化幼虫がネットの目をくぐり抜けて施設内に侵入することがあるので注意する。
  - (5) 同一系統薬剤の連用を避け, 作用性の異なる薬剤とのローテーション散布に努める。

表1 巡回調査におけるハスモンヨトウの発生状況

作物名	発生ほ場率 (%)			概評
	本年	前年	平年	
オクラ	30	10	5	高い
イチゴ	13	13	29	やや低い
サトイモ	50	17	45	並
サツマイモ	7	0	2	やや高い

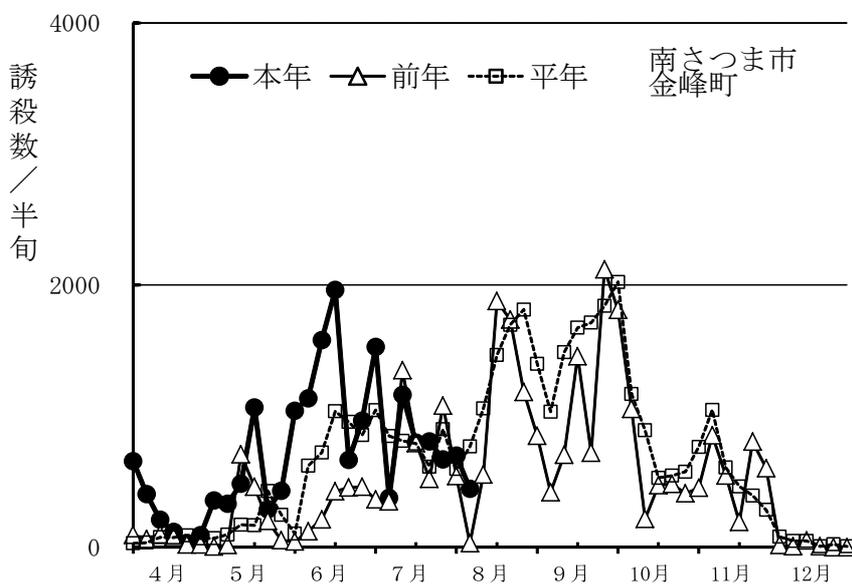
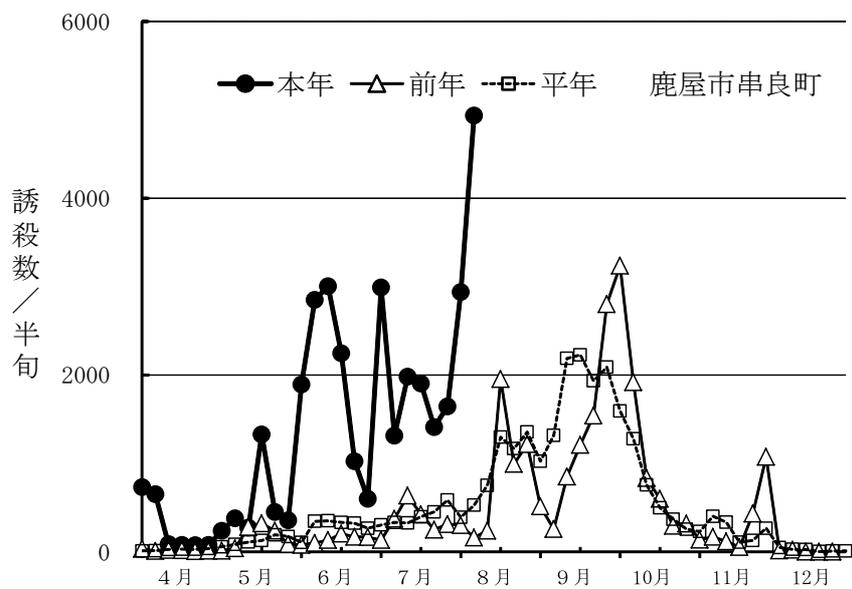


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺状況（27年8月10日現在）